

令和8年3月30日

保健医療部保健政策課長 中村 珠美

(担当) 課長補佐(総括) 庄司 (029-301-3117)

茨城県立医療大学長 阿部 慎司

(担当) 副学長 河野 豊

事務局長 久保田 (029-840-2100)

茨城県立医療大学 令和8年度助産学専攻科入学試験における出題ミスに係る 教員の懲戒処分等について

令和7年9月6日に実施しました令和8年度助産学専攻科入学試験における出題ミスについて、これらに関与した教員に対し、本日付けで懲戒処分等を行いました。

入学試験において、こうした事件を引き起こしてしまったことは、受験生に大変な御迷惑をおかけし、また、県民の皆様の信頼を著しく損ねる行為であり、深くお詫び申し上げます。

今後、二度と同様の事件を起こさぬよう、引き続き再発防止策を徹底してまいります。

1 事案の概要

- ・ 県立医療大学が令和7年9月に実施した助産学専攻科入学試験（一般・県内大学及び医療機関推薦）の専門科目試験において、2箇所の出題ミスがあった。
- ・ うち選択肢に誤りのあった1箇所については、正答が複数導けるおそれがあることから、受験者全員を正解の扱いとした上で、合否判定を行った。

2 処分内容

(1) 大学の最高責任者及び入学試験問題の作成業務に関する責任者

茨城県立医療大学学長 66歳 男性：戒告

茨城県立医療大学副学長 56歳 男性：戒告

(2) 不適切な問題を作成した教員

茨城県立医療大学教員 2名：訓告

(3) 出題する問題の確認に関与した教員

茨城県立医療大学教員 4名：厳重注意

3 処分年月日： 令和8年3月30日

4 再発防止策

本件出題ミス発覚後に実施した入学試験においては、以下の再発防止策を講じたところであり、引き続き徹底してまいります。

	項目	内容
1	委員会の対面開催の徹底	・令和6年度学部入試における出題ミスの際に定めた再発防止策を踏まえ、 <u>問題精選委員会及び問題点検委員会の対面での開催を徹底する。</u>
2	問題点検委員会のチェック体制の強化	
	① チェック方法を詳細に定めた運用マニュアルの整備	・複数名で問題文を読み合わせするなどの入念なチェックを行うとともに、 <u>チェックの手順や方法を詳細に整理した運用マニュアルを作成する。</u>
	② 確認者の責任の明確化に向けたチェック票への署名の徹底	・各チェック過程において、チェック項目を記載したチェック票を作成し、確認後、 <u>確認者にチェック票への署名を求め、責任の明確化を図る。</u>

【参考：出題ミスの内容等】

(1) 試験科目： 専門科目（母性看護学）

(2) 出題ミス内容及び受験者への対応

	箇所	出題ミスの内容	受験者への対応
1	問題 39 の 選択肢	「適切でない」 選択肢を選択する問題 【誤】 <u>胸部X所見</u> ※「線」の脱字 ↓ 【正】 <u>胸部X線所見</u>	受験生全員を正解扱いとする (正答が複数導けるおそれがあるため)
2	問題 49 及 び問題 50 の問題文	【誤】 <u>心拍数 130 回//分</u> ※「/」が誤字 ↓ 【正】 <u>心拍数 130 回/分</u>	措置なし (解答への直接の影響が無いため)